

科目名称	基礎看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	15
担当教員	福田 栄江 宮下佳生	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

看護の歴史の変遷を理解するとともに看護の主要概念をとらえ、看護の機能や役割を学び、保健・医療・福祉チームにおける位置づけが理解できる。

【2】 学習目標

1. 看護の歴史からこれまで看護が果たしてきた役割と今後の課題を明確にできる。
2. 看護の対象者を理解し、人々の生活と健康について理解できる。
3. 看護職に求められる倫理について説明できる。
4. 保健・医療・福祉チームの中での看護の役割が説明できる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護の変遷	講義
2	看護の役割と機能①	講義
3	看護の役割と機能②	講義
4	看護の対象の理解	講義
5	看護における倫理	講義
6	看護の提供のしくみ	講義
7	広がる看護の活動領域	講義
8	試験	筆記試験

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験(80%)、レポート提出状況・内容(20%)で総合的に評価する。

【6】 教科書

茂野香おる:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔1〕 看護学概論(第17版) 医学書院 2026 (電子版)
 看護職の基本的責務:日本看護協会編、日本看護協会出版 2025

【7】 参考書

杉田暉道:系統看護学講座 別巻 看護史(第7版) 医学書院 2026 (電子版)
 宮坂道夫:系統看護学講座 別巻 看護倫理(第3版) 医学書院 2026 (電子版)
 看護実践に活かす中範囲理論第3版、メヂカルフレンド,2025
 城ヶ端初子著:実践に活かす看護理論 19、サイオ出版,2018
 看護覚え書:湯棋ます他訳,現代社,2011

【8】 受講生へのメッセージ

これから何を学んでいくか入門の科目です。看護に対する自分の考えの土台を作っていきましょう。